





令和5年度 復興計画進捗管理表 (R6.3月末時点)

(凡)  ...現時点のスケジュール  
 (例)  ...復興計画策定時点のスケジュール



主要施策		施策概要	進捗状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	R5担当課		
1. 「くらし」 被災者の生活再建										
1-1 安全な宅地の確保										
1	安全な宅地の確保	安全な宅地の確保	【塚ノ丸団地】 ・R6年3月に宅地1期27区画が完成 ・宅地1期 27区画中17区画決定 ・宅地2期 13区画中6区画決定 ・残りの区画については随時追加募集中  【一王子団地(分譲)】 ・村有住宅跡地を活用 ・14区画中12区画の引き渡し完了 ・残りの区画については随時追加募集中					塚ノ丸団地 一王子団地(分譲)	R6年3月 宅地1期27区画完成  順次引き渡し及び追加募集実施	総務課・建設課
1-2 公営住宅の整備										
2	災害公営住宅の整備	災害公営住宅の整備	【渡地域(総合運動公園遊具エリア)】 ・R5年9月に供用開始  【一勝地域(永崎団地隣接地)】 ・R5年7月に供用開始  【神瀬地域(木屋角地区)】 ・小規模改良住宅事業を活用し、R6年度中に供用開始予定					渡 災害公営 一勝地 災害公営 神瀬 改良住宅	R5年9月 供用開始 R5年7月 供用開始 R6年度 供用開始予定	総務課・建設課
3	村営住宅の整備	村営住宅の整備	・総合運動公園(芝生エリア及びグラウンドの一部)に建設された木造仮設住宅を、村有住宅として転用(R6年3月に芝生エリアの改修工事完了) ・入居対象者は、災害公営住宅の要件により入居できないベトナム世帯、所得要件超過世帯等を想定					村有住宅(木造仮設住宅の転用)	R6年3月 芝生エリア改修工事完了	総務課
1-3 被災者に寄りそう住まいの再建支援										
4	住宅再建への支援	住宅再建相談窓口の設置、相談会の開催	・「災害復興住宅融資相談会(住宅金融支援機構 熊本センター)」を月2回、仮設団地で開催					災害復興住宅融資相談会の開催	R6年度～ 個別相談等の実施	保健福祉課
		復興基金を活用した資金面での支援	・転居費用助成、民間賃貸住宅等入居助成、自宅再建利子助成を実施 ・R4年度に「球磨村住宅建設等支援補助金」を創設し、村内での住まいの再建や安全対策の実施を支援 ・引き続き、支援メニューの拡充を検討					基金メニューの活用・拡充		総務課・保健福祉課
5	被災住宅の解体の促進	公費解体、宅地堆積土砂の撤去	・公費解体については、R3年度末で完了 ・災害廃棄物の仮置場は、R3年12月で閉鎖					公費解体・災害ゴミ	終了	復興推進課
		災害廃棄物の適正処理	・ボランティアセンターによる片付けゴミの収集・処理は村で対応							
1-4 子育て・教育環境の再生と安心して学べる環境づくり										
6	教育環境のあり方検討	渡小学校の教育環境の改善	・球磨中学校敷地内の仮設校舎で再開					仮設校舎建設	授業再開	教育委員会
		小中学校再編整理の検討	・R3年度に小中学校再編計画検討委員会を開催 ・検討委員会の提言を踏まえ、R6年度に義務教育学校へ再編					再編検討委員会	義務教育学校への再編準備	義務教育学校開校

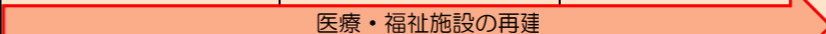
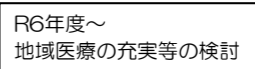
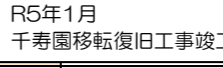
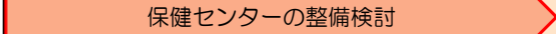

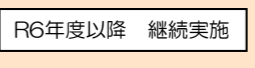
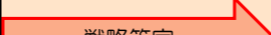

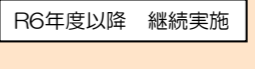

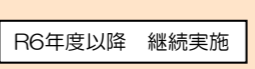
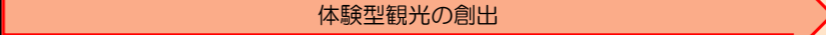
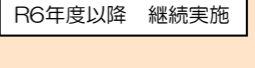
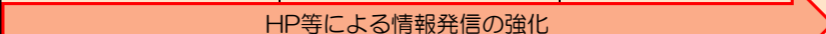
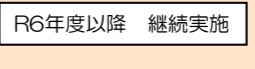
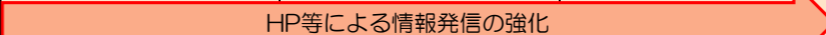
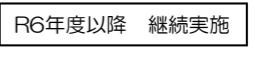
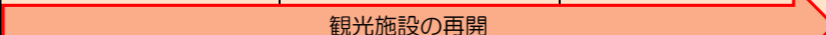
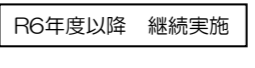
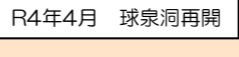
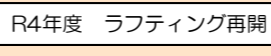
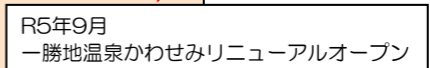
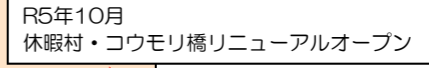

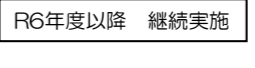
令和5年度 復興計画進捗管理表 (R6.3月末時点)

(凡)  ……現時点のスケジュール  
 (例)  ……復興計画策定時点のスケジュール



主要施策		施策概要	進捗状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	R5担当課
7	児童・生徒へのケア	スクールカウンセラー等の配置	・スクールカウンセラー2名を配置 ・スクールソーシャルワーカーによる相談体制の整備	→ スクールカウンセラー等の配置			R6年度以降 継続実施	教育委員会
		アフタースクール等の充実	・各小学校の見守り活動や、アフタースクール活動を継続して実施	→ 見守り活動・アフタースクールの実施			R6年度以降 継続実施	教育委員会
1-5 日常生活や移動等生活環境の早期復旧と利便性向上								
8	交通環境の早期復旧	JR肥薩線・くま川鉄道の早期復旧	・引き続き、JR肥薩線の復旧を要望 ・くま川鉄道再生協議会において、県・流域市町村と連携して復旧に取り組む	→ JR肥薩線・くま川鉄道の復旧				復興推進課
		利便性の高いコミュニティバスへの見直し	・R5年4月から全線100円の定時運行へ移行(一部予約制) ・利用状況に応じて見直しを実施	→ コミュニティバスの見直し			R6年度～ 利用状況に応じて見直し を実施	復興推進課
9	生活基盤の早期復旧	水道の早期復旧	・順次、復旧工事を実施 ・渡地域における水道復旧工事については、沖鶴橋、相良橋の災害復旧工事に合わせR6年度以降に実施予定	→ 復旧工事の実施				建設課
		移動販売による買い物困難者への支援	・引き続き、地域のニーズに合わせ巡回販売を実施	→ 巡回販売の継続			R6年度以降 継続実施	復興推進課
2. 「きすな」 地域コミュニティの再生と脱炭素のむらづくり								
2-1 被災者の見守りや生活再建								
1	被災者の見守りや生活相談による心身のケア	地域支え合いセンター等による被災者の見守りや心身のケア	・引き続き、地域包括支援センターや精神保健福祉センター等の関係機関と連携し、訪問、電話連絡等の支援を実施	→ 被災者の見守り等の実施				保健福祉課
2-2 地域コミュニティの再生								
2	仮設団地でのコミュニティづくりの支援	みんなの家を活用した交流の機会や場づくりの支援	・R6年3月末時点で、仮設住宅等コミュニティ形成支援事業の申請実績なし ・災害公営住宅等コミュニティ形成支援事業の実施 ・R4年度に多目的広場仮設団地、R5年度に大王原仮設団地を集約 ・入居状況に応じて更なる集約を検討	→ コミュニティ形成支援事業の活用・仮設団地集約の検討				総務課
3	仮設コミュニティ拠点の復旧	公民館・集会所の復旧支援	・各班の復旧に向けた意向調査の実施 ・日本財団「みんなの家」事業を活用してコミュニティ施設を再建 R5年12月 渡地区みんなの家竣工	→ コミュニティ施設の復旧・整備				教育委員会
2-3 地域文化の復活								
4	神社等の集落共有施設の復旧、文化財の修復支援	神社等集落共有施設の復旧、文化財の修復支援	・各班の復旧に向けた意向調査の実施 ・未指定文化財補助制度の創設 ・復旧工事の実施 R5年4月 大瀬阿蘇神社竣工	→				教育委員会
5	地域文化の復活	まつりや行事、郷土芸能等の復活	・郷土芸能等の披露の場を検討 ・R4年度に引き続き、R5年度も「くまむら復興祭」を開催、R6年度以降も披露の場として祭りを開催予定	→ 「いれあい祭り」等の再開			R6年度以降 継続実施	復興推進課・教育委員会

令和5年度 復興計画進捗管理表 (R6.3月末時点)

凡  ……現時点のスケジュール  
 例  ……復興計画策定時点のスケジュール



主要施策		施策概要	進捗状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	R5担当課
2-4 保健・福祉・医療の充実								
6	保健・福祉・医療の拠点整備	医療・福祉施設の村内での再建支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・神瀬診療所の再開については、まちづくりを踏まえ検討</li> <li>・千寿園は、R5年1月移転復旧工事竣工、R6年度全面再開を予定</li> </ul>				 医療・福祉施設の再建  R6年度～地域医療の充実等の検討  R5年1月千寿園移転復旧工事竣工	保健福祉課
		保健・福祉・医療等の連携した保健センターの整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の再建や未利用施設の活用を含め検討</li> </ul>				 保健センターの整備検討	保健福祉課
2-5 脱炭素社会に向けた取組強化								
7	公共施設や住宅の省エネの推進	公共施設や住宅の省エネ化の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度：再エネ導入戦略を策定</li> <li>・R4年度：脱炭素先行地域に認定</li> <li>・EVスクールバスの活用（R3～R5年度EVスクールバス実証事業）</li> <li>・R4年度に環境教育の推進に向け森林組合、球磨村森電力と協議開始（R5年度も継続）</li> </ul>				 省エネの推進  R6年度以降 継続実施	復興推進課
8	再生可能エネルギーの地産地消の推進	球磨村の資源を活用した再生可能エネルギー事業の推進		 戦略策定			 再生可能エネルギーの地産地消  R6年度以降 継続実施	
9	住民総参加型の環境保全・環境教育の推進	村民の様々な活動の支援、環境教育の推進					 環境教育の推進  R6年度以降 継続実施	
3. 「にぎわい」 球磨川と共生する村の自然を活かした観光むらづくり								
3-1 村の観光資源をフル活用した誘客力の向上								
1	球磨川や棚田等、村の資源を活用した体験型観光の創出	球磨川や棚田、森林等村の資源を活用・組み合わせた体験型観光の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度にくま森林サービス産業創出協議会を設立</li> <li>・森林サウナの事業化に向けた検討と計画立案</li> <li>・モニターツアーやコンテンツ開発を推進</li> </ul>				 体験型観光の創出  R6年度以降 継続実施	復興推進課・産業振興課
2	球磨村の新たな魅力の情報発信の強化	各種媒体を活用した魅力の情報発信の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観光HPをR4年4月からリニューアル</li> <li>・R4年度に「湯灯り」等のSNS等での発信、鹿児島空港や熊本県庁でのPRを実施</li> <li>・R5年度は、新たな観光パンフレットの作成・配布を行うとともに、より効果的な発信となるようターゲットを絞った情報発信を実施</li> </ul>				 HP等による情報発信の強化  R6年度以降 継続実施	復興推進課
3-2 村の顔となる観光産業の再生								
3	観光施設や一勝地駅周辺施設の早期復旧支援	球泉洞や一勝地温泉かわせみ等の観光施設の早期再開支援、一勝地駅周辺施設の再開支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・球泉洞については、R4年4月から営業再開、R5年10月に休暇村及びコウモリ橋がリニューアルオープン</li> <li>・村内のラフティング協会加入団体では、R4年度から運行再開</li> </ul>				 HP等による情報発信の強化  R6年度以降 継続実施  観光施設の再開  R6年度以降 継続実施	復興推進課・産業振興課
4	球磨川下りやラフティング等の再開支援	球磨川下りやラフティング等の早期再開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一勝地温泉かわせみは、R5年9月にリニューアルオープン</li> <li>・球泉洞、森林館を拠点とした観光コンテンツの開発に向けた検討</li> </ul>		 R4年4月 球泉洞再開  R4年度 ラフティング再開	 R5年9月一勝地温泉かわせみリニューアルオープン  R5年10月休暇村・コウモリ橋リニューアルオープン  球磨川下り・ラフティング等の再開  R6年度以降 継続実施		

令和5年度 復興計画進捗管理表 (R6.3月末時点)

(凡例)  ...現時点のスケジュール  
 ...復興計画策定時点のスケジュール



主要施策	施策概要	進捗状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	R5担当課	
3-3 球磨川や森林空間を活用したサービス産業の創出								
5	球磨川や地域資源を生かしたサービス産業の創出	関係団体との協働体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R5年度は、球磨村観光協会に新たに2団体が加入</li> <li>・熊本県と連携して関西圏からの修学旅行客誘致のためのコンテンツ造成と受け入れ態勢の構築を実施</li> <li>・企業との連携を狙ったモニターツアーを実施予定</li> </ul>	体験型観光の創出			R6年度以降 継続実施	復興推進課・産業振興課
4. 「なりわい」 山の暮らしと農林業・商工業の生業（なりわい）再生								
4-1 力強い産業基盤の再生								
1	災害に強い産業基盤の整備	林道、森林作業道の復旧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・査定件数90件</li> <li>→ 81件契約済み、うち65件完了</li> <li>・作業道の復旧支援（R5年度は7路線実施）</li> </ul>	災害復旧工事の実施			産業振興課・建設課	
		治山・砂防施設の整備	<ul style="list-style-type: none"> <li>・災害関連緊急砂防事業3ヶ所</li> <li>→ 2ヶ所完了、1ヶ所着工済み</li> <li>・災害関連緊急治山事業19ヶ所</li> <li>→ 全て完了</li> <li>・治山激甚災害対策特別緊急事業16ヶ所</li> <li>→ 5ヶ所着工済み</li> <li>・砂防激甚災害対策特別緊急事業8ヶ所</li> <li>→ 1ヶ所着工済み</li> </ul>	土石流・山林崩壊対策			建設課	
2	被災した営農環境の再生	被災した農道、農地、農業用施設の早期復旧	<ul style="list-style-type: none"> <li>・査定件数143件</li> <li>→ 89件契約済み、うち57件完了</li> </ul>	災害復旧工事の実施			建設課	
4-2 農林業の再生と競争力強化								
3	被災した農林業者への再開支援	被災した農業機械等の復旧、営農再開への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・補助金を活用した営農再開支援については、R3年度で終了</li> <li>・尾線地区の農業復興エリアの方針について営農希望者等への説明を行った上で、測量設計業務に着手</li> </ul>	営農再開支援			産業振興課	
		被災した製材所等の復旧への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木材加工流通施設等については復旧済み</li> </ul>	製材所等の復旧支援	終了		産業振興課	
4	稼げる農業の実現	球磨村産の農産物等を活用した加工品の開発、高付加価値作物への転換	<ul style="list-style-type: none"> <li>・氷温熟成・氷温貯蔵によるブランド化の推進（R5年度 前年比2件増）</li> <li>・BLOF理論に基づく農法の技術習得・技術指導の促進</li> </ul>	稼げる農業の実現			R6年度以降 継続実施	産業振興課
5	農林業のスマート化への支援	ICTを活用したスマート農林業の導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・スマート農林業の実現に向けた検討、デモ等の実施</li> <li>・ドローンによる農薬散布の棚田での活用について、毎床地区で県による実証実験を実施</li> </ul>	スマート農林業の検討			R6年度以降 継続実施	産業振興課
6	村の資源を活用した雇用の創出	木質バイオマスの展開等新たな事業による雇用の創出	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「2-5：脱炭素社会に向けた取組強化」と連携</li> </ul>	戦略策定	新たな雇用の創出		R6年度以降 継続実施	復興推進課
		直売所等地域の活性化や地域のニーズに対応した事業の創出支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の農作物を集荷・販売する軒下支援事業を実施</li> <li>・R4年度にECサイトの構築によりインターネット販売を開始、更なる拡充を図る</li> </ul>	軒下支援事業			R6年度以降 継続実施	産業振興課

令和5年度 復興計画進捗管理表 (R6.3月末時点)

(凡)  ...現時点のスケジュール  
 (例)  ...復興計画策定時点のスケジュール

主要施策		施策概要	進捗状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	R5担当課
4-3 商工業の再生と振興								
7	商工業の再生支援	商工業の事業再建支援	・なりわい再生支援制度補助金の再建支援を実施	 なりわい再生支援制度等の活用支援				復興推進課
8	仮設店舗による商店の早期開設支援	仮設店舗による商店の早期再開支援	・R3年8月に運動公園仮設商店オープン ・R3年12月に一勝地仮設商店オープン	 渡仮設商店建設 →  仮設商店で再開  一勝地仮設商店建設 →  仮設商店で再開				復興推進課
9	金融機関の早期再開支援	郵便局、JAの早期再開支援	・渡郵便局は、運動公園仮設店舗で再開 ・神瀬郵便局については、神瀬のまちづくりと併せて検討	 金融機関の再開				復興推進課
5. 「そなえ」 災害に強いむらづくりに向けた復旧と備え								
5-1 道路、橋梁等インフラの早期復旧								
1	幹線道路の早期復旧と強靱化	国道219号や橋梁の早期復旧と強靱化	・順次、災害復旧工事の実施(国) ・沖鶴橋、松本橋、大瀬橋についてはR4年10月着工 ・相良橋、神瀬橋についてはR5年11月着工	 災害復旧工事の実施				建設課
2	集落間を結ぶ生活道路の早期復旧	集落間を結ぶ生活道路の早期復旧	・順次、災害復旧工事の実施(県・村) ・村道災58件 → 全て復旧完了	 災害復旧工事の実施				建設課
3	命を守る道路ネットワークの確保	災害に強い道路ネットワークの確保	・県道人吉水保線については、沖鶴橋の復旧工事と併せて整備予定 ・大槻地区から山江村方面への林道整備を計画中	 道路ネットワークの確保				建設課
5-2 河川の復旧と新たな治水対策								
4	球磨川流域治水の推進	球磨川流域治水と連携した復興まちづくりの推進	・遊水地(渡)は、R4年度に用地協議開始 ・遊水地の利活用について、R6年1月基本計画策定に着手  ・引堤(渡)は、R4年度に用地協議開始、R5年9月に着工式を実施  ・宅地かさ上げ(三ヶ浦~神瀬)は、地域協議が整い、用地調査実施済みの箇所から順次事業を実施(中園、神瀬、多武除、友尻が着工済み) ・各地区説明会を開催	 遊水地  引堤  輪中堤・宅地かさ上げ				復興推進課・建設課
5	球磨川支流の河川改修	護岸の復旧、堆積した土砂の早期撤去	・順次、災害復旧工事の実施(国・県・村) ・河川災31件 → 全て復旧完了	 災害復旧工事の実施				建設課
5-3 山地災害の復旧								
6	砂防・治山施設の整備	砂防施設、治山施設の整備	・順次、災害復旧工事の実施(4-1再掲)	 土石流・山林崩壊対策				建設課

令和5年度 復興計画進捗管理表 (R6.3月末時点)

(凡)  ...現時点のスケジュール  
 (例)  ...復興計画策定時点のスケジュール

主要施策	施策概要	進捗状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度以降	R5担当課
5-4 避難対策の強化							
7 安全な避難場所・避難所・避難ルートの見直し	ハザードマップの見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年3月に「球磨村総合防災マップ」を全戸配布済み</li> <li>・防災教育に活用できる防災マップ拡大版を集落ごとに随時作成</li> </ul>	R2年度に見直し済み				総務課
	身近で安全な避難場所、避難ルートの見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災マップで新たに避難場所等を指定</li> <li>・被災施設の復旧と併せて見直しを検討</li> <li>・山口居住エリア(塚ノ丸)と総合運動公園を結ぶ避難路を整備(R5年度着工)</li> <li>・神瀬地区で避難路を整備(R4年度着手)</li> <li>・地区と避難所を結ぶ道路の拡幅等を検討</li> </ul>		避難場所・避難ルートの見直し			総務課・建設課
	浸水深や避難所等の標識設置	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R2年7月豪雨災害の被災水位を示す、リアルハザードマップを設置</li> <li>・R6年3月に5ヶ所追加設置(現在10ヶ所設置)</li> </ul>		リアルハザードマップの設置		R6年度以降 継続実施	総務課
8 防災無線やSNS等を活用した情報伝達手段の強化	防災無線、戸別受信機、SNS等様々な手段の活用による情報伝達手段の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度中にデジタル無線整備工事完了</li> <li>・R4年度より村内一斉デジタル運用を開始</li> </ul>		情報伝達手段の強化		R6年度以降 継続実施	総務課
	通信施設の安全性の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度中に光ケーブルの災害復旧工事完了</li> <li>・各種事業に伴う移設整備を順次実施</li> <li>・通信設備の安全性確保について検討</li> </ul>		光ケーブルの復旧・通信施設の安全性確保		R6年度以降 継続実施	総務課
9 防災拠点の確保・整備	防災拠点の確保・整備と機能強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度に復興まちづくり計画を策定</li> </ul>		神瀬防災拠点の整備			総務課・建設課
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・神瀬地域の防災拠点について、R6年度に拠点地を造成し、R7年度に拠点施設の整備工事に着手予定</li> </ul>		渡防災拠点の整備			
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・渡地域の防災拠点について、R6年2月に総合運動公園内の施設整備基本計画策定に着手</li> <li>・一時的な避難場所の確保(一勝地)や、避難所の機能強化(三ヶ浦、高沢)を検討</li> </ul>		一時的な避難場所の確保・避難所の機能強化			
5-5 自主防災体制の強化							
10 地域再生に合わせた自主防災活動の促進	自主防災組織の村内全域での展開と活動支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織の設立支援を実施(R6年3月末時点で23の自主防災組織が設立)</li> <li>・随時「初動避難キット」や備蓄品を配備</li> </ul>		自主防災組織の設立支援		R6年度以降 継続実施	総務課
	消防団詰所の復旧支援、装備の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・被災した積載車や流失した備品等の補充を実施</li> <li>・消防ポンプ積載車の更新</li> <li>・まちづくりに合わせて詰所の復旧を計画</li> </ul>		消防団詰所の復旧・装備の充実			総務課
	高齢者や障害者等避難行動要支援者の個別計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個別計画は策定済み</li> <li>・避難行動要支援者名簿等を基に、要支援者の避難体制整備に努める</li> </ul>		避難行動要支援者の個別計画策定・推進		R6年度以降 継続実施	保健福祉課
	要配慮者利用施設の避難確保計画の見直し・作成支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>・要配慮者利用施設において、各施設ごとに避難確保計画を作成済み</li> <li>・定期的に見直しを実施</li> </ul>		避難確保計画の策定・見直し		R6年度以降 継続実施	保健福祉課
	防災教育の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各地区、団体への防災講話の実施</li> <li>・「全村民が避難について考える日」等を引き続き実施</li> <li>・R4年度から防災ブロック会議を再開</li> <li>・R4年度から「防災学習の日」と題し、避難所の運営等、体験型防災学習を実施</li> </ul>		防災教育の推進		R6年度以降 継続実施	総務課
11 家屋や農作物等に対する保険等への加入促進	保険等の加入に関する普及啓発	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R3年度に水災補償加入促進補助金制度を創設</li> <li>(R5年度：R6年2月末時点 50件申請)</li> <li>・引き続き制度周知を図る</li> </ul>		水災補償加入促進補助金制度		R6年度以降 継続実施	総務課